

各 位

2024 年 4 月 30 日

株式会社三井住友銀行

東京ガス不動産プライベートリート投資法人に  
「SDG s 推進支援シンジケーション」を実施

株式会社三井住友銀行（頭取 CEO：福留 朗裕）は、東京ガス不動産プライベートリート投資法人（執行役員：大友 学）に「SDG s 推進支援シンジケーション」を実施いたしました。

「SDG s 推進支援シンジケーション」は、シンジケートローン実行時に、株式会社三井住友銀行と株式会社日本総合研究所（代表取締役社長：谷崎 勝教）が、企業のSDG s（※）に関する現状の取り組み状況を確認した上で、本業を通じたSDG s 貢献への道すじ（ロジック）を分析し、SDG s の取り組み推進に向けたアドバイス等をご提供する商品です。

今回対象となりました、東京ガス不動産プライベートリート投資法人については、以下に記す事業を通じて、SDG s の目標達成に向けた貢献が期待できると判断されました。

① 東京ガスグループや入居者との協働による、運用物件における脱炭素に向けた取り組み

目標 13 気候変動に 具体的な対策 	13.2 気候変動対策を国別の政策、戦略及び計画に盛り込む。
目標 7 エネルギーをみんな にそしてクリーンに 	7.3 2030 年までに、世界全体のエネルギー効率の改善率を倍増させる。

② 入居者の多様な働き方の促進、東京ガスグループとの連携サービス提供による物件の快適性・レジリエンス強化

目標 8 働きがいも 経済成長も 	8.2 高付加価値セクターや労働集約型セクターに重点を置くことなどにより、多様化、技術向上及びイノベーションを通じた高いレベルの経済生産性を達成する。
---	--

<p>目標 11 住み続けられる まちづくりを</p> 	<p>11.3 2030年までに、包摂的かつ持続可能な都市化を促進し、全ての国々の参加型、包摂的かつ持続可能な人間居住計画・管理の能力を強化する。</p>
---	---

三井住友銀行では、「SDG s 推進支援シンジケーション」により、本業を通じ、SDG s が達成される社会の実現に貢献をしております。

<ご参考>

※ SDG s とは

Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標) の略称。国連総会で採択された、新興国だけでなく先進国等あらゆる国と地域が、貧困や平等、教育、環境等、「誰も取り残されない世界」の実現を 2030 年までに目指す 17 の目標と 169 のターゲットのことです。

以 上